

令和8年度 一般会計予算・特別会計予算総額 ¥26,352,918,000—

令和8年度当初予算

問い合わせ 企画財政課 ☎59-2121

当初予算の概要

一般会計は、193億9788万7千円で、前年度当初予算に比べ1.0%の減となりました。

歳出は、休日診療所移転事業費などの衛生費や、防災行政無線更新事業費などの消防費などが増加し、大竹保育所改修等事業が完了した民生費などは減少しています。

歳入は、市税や国県支出金などが増加し、地方交付税や市債などは減少しています。

5つの特別会計の合計は、69億5503万1千円で、前年度に比べ3.1%減少しています。

令和8年度会計別予算

一般会計・特別会計

名称	令和8年度	令和7年度	前年度比 (%)
一般会計	193億9,789万円	195億8,944万円	▲1.0
特別会計 計	69億5,503万円	71億8,075万円	▲3.1
国民健康保険	29億7,491万円	32億6,621万円	▲8.9
港湾施設管理受託	7,948万円	7,784万円	2.1
土地造成	2億5,247万円	2億3,581万円	7.1
介護保険	29億4,758万円	29億6,766万円	▲0.7
後期高齢者医療	7億 59万円	6億3,323万円	10.6
合計	263億5,292万円	267億7,019万円	▲1.6

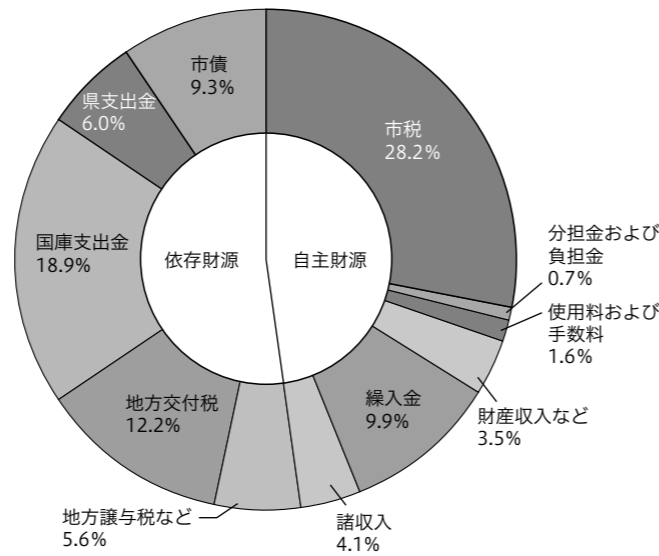
※万円未満は端数処理しています。

企業会計

名称	区分	令和8年度	令和7年度	前年度比 (%)	
水道事業会計	収益的	収入	6億 409万円	5億5,051万円	9.7
		支出	6億6,837万円	6億2,044万円	7.7
	資本的	収入	2億7,425万円	2億1,858万円	25.5
		支出	5億6,430万円	4億4,922万円	25.6
工業用水道事業会計	収益的	収入	5億5,289万円	5億5,252万円	0.1
		支出	4億8,035万円	4億8,981万円	▲1.9
	資本的	収入	3,980万円	4,010万円	▲0.7
		支出	3億4,120万円	3億6,264万円	▲5.9
下水道事業会計	収益的	収入	11億7,309万円	11億5,488万円	1.6
		支出	12億8,147万円	11億5,218万円	11.2
	資本的	収入	11億5,832万円	10億1,437万円	14.2
		支出	14億2,689万円	10億6,514万円	34.0

※万円未満は端数処理しています。

歳入

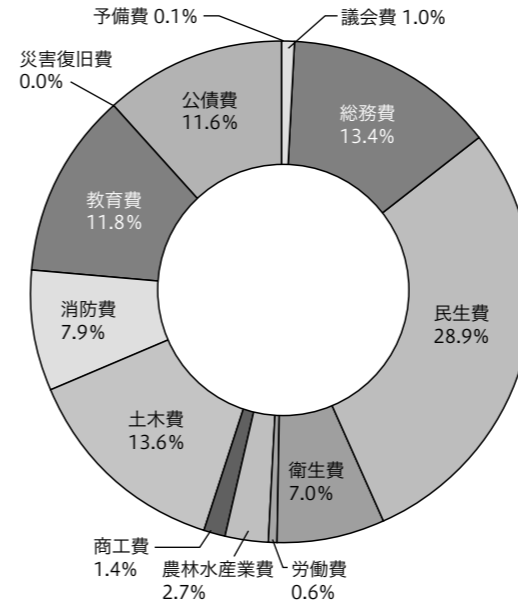


歳入

項目	内容	令和8年度 ()は7年度	前年度比 (%)
		193億9,789万円 (195億8,944万円)	▲1.0
市税	市民税や固定資産税など	54億6,226万円 (51億9,647万円)	5.1
分担金および負担金	保育料、養護老人ホーム入所者負担金など	1億2,886万円 (1億2,874万円)	0.1
使用料および手数料	市営住宅使用料、ごみ・し尿処理使用料、各施設の使用料など	3億 791万円 (3億 70万円)	2.4
財産収入など	土地売却収入、寄附金など	7億 392万円 (8億3,375万円)	▲15.6
繰入金	基金繰入金、他会計繰入金など	19億1,183万円 (21億 221万円)	▲9.1
諸収入	他の収入科目に含まれない収入(貸付金元金収入など)	7億9,503万円 (7億8,845万円)	0.8
地方譲与税など	国や県が徴収した税の一部を一定割合で交付されるお金	10億9,211万円 (9億6,991万円)	12.6
地方交付税	市の財政力などに応じて国から交付されるお金	23億6,335万円 (25億 152万円)	▲5.5
国庫支出金	特定の目的のために国から交付されるお金	36億6,582万円 (31億6,968万円)	15.7
県支出金	特定の目的のために県から交付されるお金	11億5,830万円 (11億1,731万円)	3.7
市債	大きな事業を行うために国や金融機関から借り入れるお金	18億 850万円 (24億8,070万円)	▲27.1

※万円未満は端数処理しています。

歳出 (目的別)

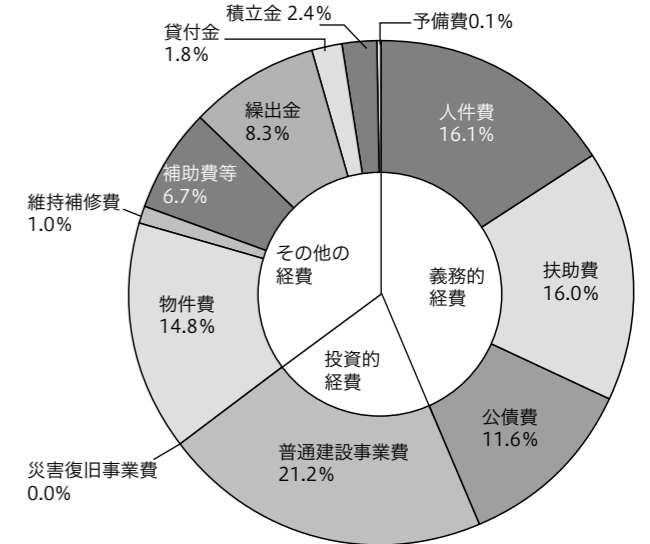


歳出 (目的別)

項目	内容	令和8年度 ()は7年度	前年度比 (%)
		193億9,789万円 (195億8,944万円)	▲1.0
議会費	議会の活動にかかる経費	1億8,966万円 (2億1,770万円)	▲12.9
総務費	市の全般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	25億9,314万円 (30億2,797万円)	▲14.4
民生費	生活保護や児童・高齢者などの経費	56億 701万円 (60億1,048万円)	▲6.7
衛生費	衛生的な生活環境を守るための経費	13億6,253万円 (12億5,506万円)	8.6
労働費	労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	1億2,005万円 (1億2,005万円)	0.0
農林水産業費	農林業や水産業の振興などの経費	5億1,666万円 (6億 538万円)	▲14.7
商工費	商工業の振興や観光宣伝などの経費	2億7,909万円 (4億2,051万円)	▲33.6
土木費	道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	26億4,473万円 (30億2,618万円)	▲12.6
消防費	消防・救急業務や防災対策の経費	15億2,730万円 (7億3,030万円)	109.1
教育費	小・中学校の運営や社会教育などの経費	22億9,466万円 (23億1,146万円)	▲0.7
災害復旧費	災害復旧工事などの経費	1万円 (1万円)	0.0
公債費	過去の借入金の返済金	22億4,305万円 (18億4,434万円)	21.6
予備費	緊急時のための目的を定めていない予算	2,000万円 (2,000万円)	0.0

※万円未満は端数処理しています。

歳出 (性質別)



歳出 (性質別)

項目	内容	令和8年度 ()は7年度	前年度比 (%)	
		193億9,789万円 (195億8,944万円)	▲1.0	
義務的経費	人件費	市役所で働く人の報酬や給与など	31億1,902万円 (30億2,086万円)	3.2
	扶助費	社会保障制度の一環として、支援を行うための経費	30億9,820万円 (29億6,308万円)	4.6
	公債費	過去の借入金の返済金	22億4,305万円 (18億4,434万円)	21.6
投資的経費	普通建設事業費	道路や公共施設を新増設するための経費	41億1,952万円 (41億5,311万円)	▲0.8
	災害復旧事業費	災害復旧工事などの経費	1万円 (1万円)	0.0
その他の経費	物件費	旅費、需用費などの消費的性質をもつ経費	28億7,879万円 (33億7,747万円)	▲14.8
	維持補修費	道路や公共施設などを管理する経費	2億 345万円 (1億7,090万円)	19.0
	補助費等	市からほかの団体などに対して行政上の目的で支払う経費	12億9,401万円 (13億7,171万円)	▲6.0
	繰入金	会計間で相互に資金運用するための経費	16億1,430万円 (15億6,860万円)	2.9
	貸付金	市から行政上の目的で貸付けを行う経費	3億4,325万円 (3億4,420万円)	▲0.3
	積立金	財政運営を計画的に行うため、財政変動に備えて基金に積み立てるための経費	4億6,429万円 (7億4,970万円)	▲38.1
	予備費	緊急時のための目的を定めていない予算	2,000万円 (2,000万円)	0.0

※万円未満は端数処理しています。

用語解説

【一般会計・特別会計】

地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を「一般会計」といい、特定の収入で特定の事業を行う会計を「特別会計」という。

【歳入・歳出】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。

【自主財源・依存財源】

市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したもの。市税や保育料、市営住宅使用料や施設の使用料などが自主財源となる。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源となる。市債も依存財源に含まれる。

【性質別歳出】

市の経費をその性質ごとに、義務的経費、投資的経費、そのほかの経費に分類したもの。義務的経費は支出が義務付けられている経費。投資的経費は道路や公共施設の建設などにかかる経費。

【目的別歳出】

市が行う事業を目的別に分類するもので、行政上の特色などを知ることができる。

5 健康・福祉

新規 **こども誰でも通園制度**事業

145万円

保育所などに入所していない0歳6カ月から満3歳未満の子どもに対し、月10時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に、小方認定こども園、こぐま園、知恩保育園を利用できる制度を導入します。

おむつ等宅配事業

2,026万円

子育て経験のある配達員が2カ月に1回自宅を訪問し、「子育て用品の宅配サービス」（生後2カ月から満3歳の誕生月までの乳幼児がいる家庭に、乳幼児1人あたり3,300円相当のおむつ・おしりふきなどの子育て用品を宅配するサービス）を行うとともに、子育てサポート情報の提供、母子の健康状態の確認、保護者からの相談対応などを行います。



こども医療費助成事業

1億3,763万円

子どもの医療費に係る自己負担の全額を助成することにより、子育て世代の経済的負担の軽減と、子どもの健やかな育成を支援します。

介護・福祉分野人材確保事業

832万円

市内の介護・福祉分野における人材の確保・定着を図るため、市内の事業所に従事しようとする方や従事している方を対象に、介護・福祉分野の研修費用や資格取得費用の一部を補助します。

休日診療所移転事業

1億3,900万円

老朽化している休日診療所を旧なかはま保育所跡地へ移転します。令和8年度は、旧なかはま保育所の解体後、新休日診療所の建設工事に着手します。完成は令和9年度を予定しています。

予算書を販売しています

1,500円（消費税込み）

問い合わせ 企画財政課 ☎59-2121

予算書（A4版353ページ）は、1,500円で、企画財政課、各支所で販売しています。（予算書を購入した方には、当初予算の概要を無料で配布しています）

市立図書館や情報公開コーナー（市役所2階）、市のホームページでもご覧いただけます。



6 自治・行政運営

新規・拡充 **情報化推進事業**

6,793万円

「書かない窓口」の推進やQRコードなどを活用した公金収納の導入、子育て支援に関するオンライン手続きの拡張など、デジタルトランスフォーメーション（DX）などを推進する「DX等推進事業」と、デジタル技術を活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む「地域未来交付金事業」を柱に、情報化の推進に取り組めます。



3 生活・環境

駅前油見線道路整備事業

6,740万円

大竹駅西側地区において、駅周辺へのアクセスなど、住みやすく利便性の高い生活道路網の形成や、災害時の避難路や延焼防止などの防災機能を強化するため、都市計画道路駅前油見線を整備します。令和8年度は、用地測量、物件調査や用地買収を行います。

新規 **本町白石2号線歩道整備事業**

1,700万円

通学路の安全を確保するため、本町白石2号線の歩道床版を改良します。令和8年度は、改良のための測量設計を行います。

新規 **地域猫活動等支援事業**

30万円

野良猫によるトラブルを減らすとともに、野良猫の頭数を減らし、住みよい地域にしていくために、ボランティア団体などが地域に生息する野良猫に実施した不妊・去勢手術の費用を助成します。

4 安心・安全

防災行政無線更新事業

8億6,408万円

老朽化している現行機器を更新し、災害時の防災体制を充実させます。また、複数の情報発信ツールとの連携を一元化し、迅速で確実な情報発信を可能にします。

自転車用ヘルメット購入費補助事業

81万円

自転車利用者のヘルメット着用を促進し、自転車乗車中の事故による負傷軽減を図るため、自転車用ヘルメットの購入費用の2分の1（上限3千円）を補助します。

防犯カメラ等設置補助事業

200万円

市民の防犯意識の向上を図り、安全で安心なまちづくりを推進するため、家庭用防犯カメラや、録画機能付きインターホンの設置費用の2分の1（上限1万円）を補助します。

主要事業

令和8年度の新規・拡充や
主な事業を紹介

※万円未満は端数処理しています。

1 教育・文化

拡充 **中学校屋内運動場等空調設備
整備事業**

1億6,310万円

熱中症予防対策として、市内中学校屋内運動場に空調設備を整備します。令和8年度は、大竹中学校の整備工事と、小方学園、玖波中学校の整備設計を行います。

学校給食費支援事業

1億4,162万円

大竹市立学校に在籍する児童・生徒の保護者が負担する学校給食費を全額免除することで、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進します。

玖波交流館整備事業

8億4,597万円

築50年を超える玖波公民館を、コミュニティサロン玖波の機能を統合した地域交流施設「玖波交流館」として新たに整備します。令和7年度に引き続き建設工事を行い、令和9年3月に供用開始予定です。

2 産業・雇用

拡充 **観光宣伝等事業**

1,997万円

今後の大竹市の観光施策を展開していくために必要な基本的な指針となる観光振興計画を策定します。計画の策定にあたり、旅行関係者などを招待して市の観光地などの意見をもらうFAM（ファミ）ツアーを実施します。